

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力力で上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2022年12月29日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

1日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	旭川市	代表者名	今津 寛介		
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0166-25-6205		
担当者役職	一般職	担当者氏名	會津 裕介	連絡先E-mail	
住所	070-8525 北海道旭川市6条通9丁目46番地				

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	安江 輝
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	DXを推進するに至った経緯等について現場で動いてきた職員の目線で詳細に説明があったほか、「地域社会のデジタル化」のトップランナーになるまでどのような取組を進めてきたのか紹介いただきました。DXの推進に当たっての柱である人材確保については、産官学のコンソーシアムの立ち上げや、企業人材派遣制度の活用といった具体的な取組事例など、旭川市でも活かすことができる手法を詳細に説明いただきました。DXの取組事例だけでなく、実施に至るまでのプロセスを知ることができ、DX推進に係る考え方が格段にレベルアップしたものと考えます。
アドバイザーへの要望事項	今回ご支援いただいた内容は、是非とも全職員に知ってもらいたく思っています。第2回の実地研修でもご支援よろしくお願い致します。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	期日・支援内容の変更あり		
	2022年12月22日	支援・助言(オンライン)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
			14時00分	16時00分	
				活動時間 (分)	120
3-2. 派遣場所	会場名	旭川市役所 (オンライン)	最寄駅	旭川駅	
	所在地	旭川市6条通9丁目	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	旭川市DX推進担当職員 (旭川市CDO含む) 及び業務所管課職員	14 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	本市では、令和4年4月からCDO (最高デジタル責任者) として森本登志男氏をお迎えし、「日本一のデジタル都市」を目標に掲げて取組を進めているところです。しかしながら、その取組は現在のところ、市役所内に留まっていることから、国や民間企業などと次々と新たな取組を進めている伊那市の事例から、市全体としてDX推進の手法を学び、目標実現を目指します。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	・先進事例を知ることで、幹部を含む職員が「DXでこんなことができるんだ」という期待感を持つ。 ・新しい取組を進めていく際の、市役所内部での気運を高める手法を学ぶことで、幹部を含む職員全体のDXへの意識を高め、組織風土醸成につなげる。 ・国や民間企業と連携した事業実施のノウハウを学び、旭川市での事業展開へ活かす。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	第1回はオンラインでDXチームに対し、次のとおり支援を受けました。 ・DXを進めるに至った背景の説明 ・伊那市における先進的なDX事例の共有 ・国や民間企業を巻き込んだDX推進手法の説明 ・旭川市で進めている個別事業について意見交換	
支援を受け改善又は解決された内容	次のとおり改善又は解決しました。 ・先進事例を知ることで、DXで実現できることの視界が広がったこと	

(具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先進事例を知ることで、DXへ取り組むことの重要性が伝わったこと。 ・ 国や民間企業を活用したDX推進体制を知ることができたこと。 ・ 「企業人材派遣制度」について認識できたこと。 ・ 第2回の実地派遣の全庁向け研修の内容や、個別事業の相談内容が決定したこと。 	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	第1回はDXチームへの支援でしたので、職員への「DX先進事例」及び「国や民間企業を巻き込んだ事業推進の手法」の共有は、第2回の実地派遣時に行います。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ・DXチームに対する支援であったため、アンケートは実施していません。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	職員一人一人がDXの必要性を理解し、国や民間企業の支援なども有効活用しながら、「日本一のデジタル都市」を目指して、市民サービス向上及び業務効率化の取組を進めていく。	

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



